

# 豊川市行政経営改革プラン「行政経営改革アクションプラン」

## 取組状況報告書（平成24年度）を策定しました。

「行政経営改革」の具体的計画となる「行政経営改革アクションプラン」の取組状況を、別添のとおり報告書としてまとめました。

この報告書におけるポイントは次のとおりです。

### ポイント1 全体の目標の達成状況

プランで掲げる全142件の具体的取組のうち、平成24年度に推進する具体的取組として122件を掲げました。

全体の進捗率、実施率、収入増加額・支出削減額の目標値は、**全て上回りました。**

		進捗状況	実施状況	収入増加額・支出削減額
目標	件数	114件以上	71件以上	3億円以上
	割合	80%以上	50%以上	
実績	件数	<b>122件</b>	<b>76件</b>	<b>3.8億円</b>
	割合	<b>85.9%</b>	<b>53.5%</b>	

### ポイント2 主管課による評価等

#### ■全体の状況

具体的取組ごとに個々に設定する目標と比較し、進捗度と効果の達成度を主管課により自己評価しました。（裏面参照）

#### ①進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）

**A評価**（計画を超える進捗）が**2件**ある一方で、**C評価**（計画に至らない進捗（調整したが、内容が目標に至らないものも含む。））が**6件**ありました。

#### ②効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）

**A評価**が**4件**ある一方で、**C評価**が**6件**ありました。

#### ■重点取組の状況

推進する具体的取組のうち、より強力に推進していく必要がある取組として53の具体的取組を「重点取組」として掲げています。

この取組の将来像別の取組レベルを、進捗度と効果の達成度の評価結果から、5段階で表示しました。

①進捗度：すべての項目で3点以上となり、目標とする水準以上となりました。

②効果の達成度：「財政・資産」と「人材・品質」で2点以下となり、一部目標とする水準に至りませんでした。

### ポイント3 行政経営改革審議会による評価等

外部の有識者等からなる行政経営改革審議会にて、主管課評価をもととして、外部評価を実施しました。

#### ①評価結果

進捗度・効果の達成度ともに、主管課による自己評価と同一の結果となりました。

#### ②意見等の活用

審議会からは評価に合わせて、取組の方向性、目標の見直し、手段の改善に関することなど、様々な意見等をいただきました。この意見等を活かし、今後の取組を推進します。

## 参考 主管課評価の概要

### ■ 進捗度評価

評価	取組件名	取組概要	評価内容
A評価	情報提供の充実	情報提供のガイドラインやパブリシティの手引きを見直し、実用的なものとする。	・計画を前倒して、パブリシティ※に関するルールを定めた「パブリシティの手引き」を、記者発表するタイミングや提供資料の作成方法・注意点、記者会見の実施方法などを示して明確化し、さらに効果的な情報提供を図る「パブリシティガイド」に改訂した。 ・効果的な広報・シティセールス活動を図るため開催した広報・シティセールス推進委員会議で、職員向けの説明会を実施した。
	施設の見直し及び処分	施設配置計画などに基づき既存施設の見直しや処分を実施する。	・平成24年度末に用途廃止となる消防署御津出張所、平成26年度中に用途廃止となる豊川、中部、一宮及び御津調理場の跡地利用を検討するため、試験的に担当者レベルでの検討会議を前倒して実施した。
C評価	民間企業との活動連携(草刈業務)	市内にある企業と連携し、市の草刈り場所を運転テストで提供して実施する。	情報収集をしたが、企業との調整には至らなかった。
	事務事業などの見直し	現状に適さない事務事業や計画を見直す。	7件の取組を検討・実施したが、1件の取組で実施が遅延した。
	給与制度の見直し	各種給与・手当などを状況に応じ見直す。	・手当の見直しについて、調整にとどまり、実施まで至らなかった。 ・昇給昇格制度の適正化を図るため、国家公務員の制度に準拠して高年齢層職員が昇格した際の昇給額の抑制を、平成25年4月1日施行で実施するための調整を実施した。
	新たな広告収入の獲得	新たな媒体への広告掲載を検討する。	1件の取組で計画を前倒して開始し、その他6件の取組で調整を開始したが、うち1件の取組で計画が遅延し、1件で計画の中止を決定した。
	組織と定員の最適化	組織と人員配置(定員管理)のあり方を検討して実施体制の最適化を図る。	・少数精鋭計画に連動した組織改正に関する情報交換にとどまり、目標とする調整に至らなかった。
FAQデータベースの構築	業務全般にかかるFAQデータベースを構築する。	・関係各課と調整したが、目標とした計画の進捗までには至らなかった。	

### ■ 効果の達成度評価

指標	取組件名	取組概要	評価内容
A評価	新たな広告収入の獲得	新たな媒体への広告掲載を検討する。	・広告収入により目標の8千円を上回る16千円を確保できたため、目標を超える達成とした。
	差押え物件のインターネット公売の推進	差押えた物件をインターネットを活用した公売により処分する。	・予定していた金額(3,000千円)よりも大幅に上回る自主財源を確保(10,732千円)できたため、目標を超えた達成とした。
	債務の削減(市債繰上償還の実施)	高利債を中心に繰上償還を実施する。	・当初予算では2億円の繰上償還を見込んでいたが、倍額となる約4億2千万円の繰上償還を行い、将来の負担軽減を図ることができたため、目標を超えた達成とした。
	定員の適正化の推進	少数精鋭計画に基づく定員の適正化を推進する。	・平成24年4月1日現在の職員数(市民病院を除く。)は、目標値1,152人に対し1,147人であり、計画を5人上回って職員数を削減し、一般職の人員費(退職手当除く。)も目標の約1.3億を上回る約1.6億を削減することができたため、目標を超える達成とした。
C評価	企業誘致の推進	各種優遇策の活用や誘致活動を展開し、企業を積極的に誘致する。	・新設した市内企業再投資補助金制度の活用により市内企業で新たな設備投資が実施され、常用雇用者の維持拡大にも繋がったことは一定の成果であるが、御津臨海地区への企業立地(1件)が達成できなかったため、目標に至らない達成とした。
	不用物品のインターネット公売の推進	不用となった物品の整理を行い、売却可能なものについて、インターネットで売却する。	・出品した物品については、すべて売却できたが、目標に掲げた金額までは達成できなかったため、目標に至らない達成とした。
	預金の効率的な運用	定期預金に比べ運用益の出る債券運用を拡大する。	・平成23年度末に実施した債券運用では、5億円の追加運用をしたにもかかわらず、運用利率が1.3%から0.35%と大きく減少したことに伴い運用益が前年度に比較して5,550千円減額されたため、目標に至らない達成とした。
	市有地や市施設の空きスペースの有効活用と処分	将来的に利用見込みのない市有地の売却を進めるとともに、施設の空きスペースを民間などへ貸付ける。	・市有地の処分や自動販売機設置を実施し、77,685千円の自主財源を確保したが、予算額(82,195千円)に至らなかったため、目標に至らない達成とした。
	多様な採用形態の活用	任期付職員、再任用職員、嘱託員、臨時職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	・新たに任期付職員の採用を実施するなど多様な採用形態の活用に取り組んでおり、一定の効果は上がっているものの、職員数の削減や業務量の増加により、職員の業務量抑制を実現していないため、目標に至らない達成とした。
職員の働きやすい職場環境の構築	ワーク・ライフ・バランスの推進できる職場環境を構築する。	・特定事業主行動計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいるが、職員数の削減や業務量の増加により、時間外勤務が増加しているため、目標に至らない達成とした。 ■ 残業時間や残業手当の状況(企業会計除く) 平成23年度 114,911時間 293,602千円 平成24年度 122,117時間 311,184千円	